

令和7年9月19日

町内会長・地域団体代表者 各位

地域団体への「負担金額」見直しに関するご案内

城北地区自治連合会
会長 鈴木 伝男

日頃より地域活動へのご尽力、誠にありがとうございます。

現在、自治連合会を通じて地域団体に対して、ご負担いただいている金額について、地域の実情や住民の声を踏まえ、見直しの検討を進める必要性が高まっております。

これまで、地域の皆さんからご協力いただいている負担金は、地域の安全や快適な暮らしを守るために活用されてきました。例えば、防災訓練や備品の整備、納涼祭や敬老会などの地域イベント、清掃活動や防犯パトロールのほか、公民館や福祉団体への支援、子ども会・老人クラブ・婦人の会などの活動にも使われてきました。

こうした取り組みを通して、地域のつながりを深め、住んでよかったと実感できる、みんなが安心して暮らせるまちづくりに貢献してきました。

見直しの目的

1. 負担の公平性の確保

加入世帯のみが負担している現状に対し、非加入世帯とのバランスや公平性について再考する必要があります。

2. 地域活動の持続可能性

居住世帯数の減少に伴い、自治会への加入数も低下傾向にあります。今後は、活動資金の確保がますます難しくなることが予想され限られた財源を有効に活用するための見直しが求められています。

3. 住民の理解と参加促進

負担金の使途や目的が明確になることで、住民の納得感が高まり、自治会や地域活動への参加意欲の向上につながります。

見直しの視点

* 地域団体への負担金に関わる資料：参照

◎ 使途の透明化

各団体の活動内容と費用の内訳を明示し、住民に説明できる体制づくり。

◎ 金額の妥当性

現在の負担額が活動内容に見合っているかを検証し、必要に応じて調整。

◎ 活動資材・用具の整備状況

すでに資材整備や用具購入が完了し、今後の支出が少ない団体については、負担金の縮小や停止も検討対象とします。一方で、継続的な活動や更新が必要な団体については、安定した資金確保のための支援を継続します。
* 資材整備や用具購入は、その都度検討し支援します。

◎ 納付方法の見直し

各団体への納付にかかる金融機関の手数料を抑えるため、より効率的で負担の少ない納付方法の検討を進めます。

◎ 地域全体での合意形成

町内会・各団体が連携し、住民の声を反映した見直しを進める。

今後、皆さまのお知恵とご意見をいただきながら、より良い地域運営のための仕組みづくりを進めてまいります。ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、この件については、令和7年10月14日（火）に開催予定の町内会長会にて協議を行う予定です。支援団体の皆さまには、別紙の用紙にて、ご意向をお伺いしますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。